

## 偽情報・誤情報対策の技術開発に向けて、コンテンツの出どころと認証に関する標準化団体 C2PA に加入

NHK放送技術研究所(技研)は、インターネット上の有害な偽情報・誤情報に対処するための技術開発に向けて、コンテンツの出どころと認証に関する標準化団体Coalition for Content Provenance and Authenticity(以下、C2PA)に加入しました。

C2PAは、コンテンツの制作者や編集履歴などの来歴情報をユーザに提示するためのオープンな技術仕様を策定するとともに、グローバルスタンダードを目指した普及・促進活動を通して、コンテンツの透明性と信頼性を高めることに取り組んでいる団体で、2021年に設立されました。放送局やメーカー、IT企業など、コンテンツ制作や配信に関わり、信頼できるインターネットの構築に関心のある世界各国のメディアや企業が参加しています。



<https://c2pa.org/>

C2PAは、2022年1月、コンテンツの来歴情報に関する世界初の標準仕様を発表しました。技研では、この仕様に準拠したオープンソースソフトウェアを用いてコンテンツの来歴情報提示システムのプロトタイプを開発しました。6月1日(木)～4日(日)に開催する「技研公開2023」で展示します。

(参考) NHK技研公開2023 <https://www.nhk.or.jp/strl/open2023/>

展示項目② Webベース放送メディア ②コンテンツとデータの連携・処理技術

NHKは、2022年11月より、有害な偽情報・誤情報に関する知見や対策方法を共有する国際的なメディアネットワーク(Trusted News Initiative)に参加しています。技研は、今回のC2PA加入により、偽情報・誤情報に関する知見の共有だけでなく、偽情報・誤情報のまん延を防止するための技術的対策についても研究開発を進めるとともに、標準化にも寄与していきます。今後も、視聴者のみなさまに信頼される情報空間の構築に努めていきます。



NHKは、国連とメディアが共同で実施するキャンペーン「1.5℃の約束 - いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。」に参加しています。

NHKの最新のプレスリリース 経営/コンテンツ・サービス  
<https://www.nhk.or.jp/info/>

※「どーも、NHK」Twitter(@nhk\_domo\_nhk)でも情報発信しています

